

吉見町版スーパー・シティプロジェクト ～未来へつなぐ みんなで安心して暮らせるまちよしみ～

概要 町民の移動手段を確保するとともに、町民が交流できる魅力ある「にぎわいの場」を創出し、安心して暮らせるまちづくりに取り組む。加えて、若者世代のニーズも満たし、「好き」「住みやすい」「住み続けたい」と思える吉見町を目指す。

- 課題**
- ・商店街や中心となる拠点がないため、町民の生活・消費活動が町外に依存している。
 - ・公共交通網が未発達なため、生活利便性が低い。
 - ・災害に対する安全性の確保や自然災害の激甚化・頻発化への備え。

| | コンセプト(目的) | 目標時期 | 検討したい取組(施策) | 民間企業等の協力を得たい分野・内容 |
|--------|-----------------------|-----------------|--|---|
| コンパクト | 拠点形成と道の駅を中心としたにぎわいの創出 | 中～長期 (5～10年) | <ul style="list-style-type: none"> ・道の駅を中心に都市機能を集約させ、農業、商業、観光等が連携した拠点の形成 ・大和田地区産業団地の整備による産業の活性化 ・小学校統合再編に伴う町の教育機能の集約、再編後の学校跡地利活用 | <ul style="list-style-type: none"> ・町への進出 ・学校跡地の利活用 |
| スマート | 暮らしを支えるデジタル技術の活用 | 中～長期 (5～10年) | <ul style="list-style-type: none"> ・ICTの活用や自動運転技術等の導入による公共交通の機能強化 ・スマート技術を活用した農業の生産性向上 ・アプリ等の活用により雨量や河川水位情報をリアルタイムで発信 | <ul style="list-style-type: none"> ・デマンド交通、自動運転 ・スマート農業技術 |
| レジリエント | 地域をつくる安心安全なまちづくり | 中～長期 (5～10年) | <ul style="list-style-type: none"> ・民間企業等との災害協定や災害時の輸送路の強化など災害時の体制整備 ・自主防災組織の活動支援による地域のつながりや地域防災力の向上 ・災害時のエネルギー供給の持続性を高めるため、再生可能エネルギーの活用を推進 | <ul style="list-style-type: none"> ・災害協定 ・再生可能エネルギー ・太陽光発電、蓄電池 |

吉見町版スーパー・シティプロジェクト

～未来へつなぐ みんなで安心して暮らせるまちよしみ～

コンパクト



道の駅を中心とした都市機能の集約
(農業・商業・観光)

コンパクト



大和田地区産業団地整備による産業活性化

スマート



スマート農業の導入

スマート



アプリ等の活用による雨量情報等の発信

レジリエント



災害時における再生可能エネルギーの活用

レジリエント



自主防災組織の活動支援



吉見町PR大使
よしみん

凡例

- | | | | |
|----------|-------|------|------------------|
| 市街地ゾーン | 広域連携軸 | 中心拠点 | 健康・福祉拠点 |
| 丘陵部ゾーン | 地域連携軸 | 地域拠点 | 歴史・文化・レクリエーション拠点 |
| 農業共生ゾーン | 水と緑の軸 | 産業拠点 | |
| 公園・緑地ゾーン | | | |